

FISAルールとJARARルールの比較(抜粋)

	FISA競漕規則及び運用(世界選手権級)	JARA競漕規則及び運用(全日本級)
発艇、主審が使用する言語	英語。他の言語で繰り返してもよい。	規定は無いが日本語を使用。
各クルーが使用するレーン	レースごとに、スターターが各クルーの使用するレーンを指定して呼び込む。 クルーはスターターから指示を受けるまでコースには入れない。 これは、横風等によるレーン間の不公平をなくすため実際に使用するレーンをずらすことによる。 (クルー間でレーンを入れ替えることは無い)。 レーンナンバープレート、レーンの呼称はそのまま使用する。	プログラムで指定されたレーンを使用する。 コースが空いていれば、クルーは勝手に自分のレーンに入ってよい。
到着申告	到着申告の規定なし。 スターターがブレードカラーでクルーを確認する。 (ブレードカラーの届出が厳しい)	到着申告を義務付けている。
スターターのコール		
5分前以前	クルーにレーンを割り当てる時にスタートまでの時間を言う。"Japan, ten minutes" など。	到着申告に対する返事「はい」のみ。
5分前	"Five minutes"	「レースナンバー スタート5分前」
4分前	"Four minutes"	「スタート4分前」 (救命具・デッドウエイトの確認を行う場合あり)
3分前	"Three minutes"	「スタート3分前、レースナンバー ……」 ……………」
2分前	"Twe minutes"	「スタート2分前」
ロールコール スタート号令	"Japan, China, ……" "Attention" ランプ信号 又は "Go"	「スタート用意、東京、大阪…」 「用意」 ランプ信号又は「ゴー」
ロールコールが始まってからの挙手	無視される。	発艇の猶予を求めることができる(原則として猶予を認めている)
主審の白旗操作	コールした後、舵を切るべき方向へ倒す。	真っ直ぐにあげたままコールする。
「除外」の意味	その種目から除外(予選でも敗者復活へ回れない)	そのレースから除外(予選では敗者復活へ回れる)
まじめな態度と速度を要求する規定	規定なし	規定あり。失格になることがある。
操舵拙劣の規定	規定なし	規定あり。失格になることがある。
ユニフォーム統一の解釈	帽子等は着用するのなら同じ物であること。 同じクルーの中に着用しない者がいてもよい。	帽子等は、着用するのなら、同じ物を全員が着用することが必要。
救命具	要求なし。大会期間中は練習水域にも救助艇が居ることが前提。	練習中も携帯していることを要求。 レースではその確認の意味がある。
靴かかとの紐	紐の規定あり。(代替構造も可)	規定は無いが安全の観点から指導する。
補欠	予めの届出不要。同じ団体又は国のメンバーであれば交代できる。	予め届け出た範囲でしか、代えられない。
抗議する時の供託金	100スイスフラン(抗議が認められれば返却される)	規定なし。不要。